

「理解しづらい!」を解消! たっぷりイラストでデバイス治療がわかる

2019年9月1日発行 (毎月1回1日発行) 第32巻9号 (通巻435号) ISSN 0914-2819

HEART nursing

ベストなハートケアをめざす 心臓疾患領域の専門看護誌 ハートナーシング

9

2019
September

Vol. 32 No. 9

特集

このまま患者さんに説明できる!

ややこしくない

謹呈

MC メディカ出版

ペースメーカー・ ICD・CRT

心リハスタッフのための
JOURNAL in JOURNAL
リハJOB!

連載

循環器ナースのココロ揺さぶる知識・情報満載!
Monthly of HEART

今話題になっている心不全の緩和ケア③
意思決定支援と倫理的葛藤について考えよう!

連載

～これからのキャリアを考えるあなたへ～
1歩先ゆく MORE Professional ハートナース
弾性ストッキングコンダクター

MC メディカ出版

突撃!となりの
心リハチーム



心不全利用者様の管理



調理に塩を使用していない食事メニュー (市販のドレッシングを除く)。手前のドレッシングはシークワーサーとお酢でつくったお手製のもの

うちの
心リハチーム
を紹介します

開設年	2015年9月
年間リハ件数	心疾患利用者様1,749件、全体利用者様6,379件
総スタッフ数と 職種の内訳	計14名、看護師8名(緩和ケア認定看護師1名)、理学療法士4名(心臓リハビリテーション指導士1名)、事務1名、居宅介護支援事業所併設介護支援専門員1名
勤務体制	24時間、365日(リハビリテーションは土・日曜日休み)

「志情」とは、沖縄の方言で情け深い、相手を大切に思う気持ちという意味です。企業理念は、「優しさと思いやりをもってサービスを提供し利用者様や地域と共に喜ぶことを成し遂げる」で、出会ったすべての方々への思いを大切に、利用者様や家族の笑顔が溢れ「うんじゅが肝心、にふえーでーびる(あなたのまごころありがとう)」と言ってもらえるよう、真心を込めてケアを行っています。

訪問看護の普及はまだ不十分で、2025年の地域包括ケアシステム構築に向けて、在宅医療、介護連携も重要となっています。あらゆる心疾患の終末像である心不全は、増悪を繰り返し、医学的管理および包括的支援が必要な疾患です。これまで心不全の管理に重点をおいた訪問看護ステーションは少なく、在宅での医療・介護支援は十分に行えないのが現状と考えていました。そこで2015年9月に那覇市長田

に、しなさき訪問看護ステーションを設立しました。今や社会問題ともいえる高齢の心不全利用者様に対して在宅ケアを行っていくために、日頃よりアドバイザーと連携し、必要なポイントを学び、日々向上をめざしています。

今回、心不全の管理を目的とした当ステーションの活動内容を報告します。

☺ 心不全の管理の目標と研修

徹底した心不全の管理、包括的介入と急性期病院・かかりつけ医との連携によって心不全増悪による再入院を最小限で済ませることを目標としています。さらにすべての心不全利用者様で増悪予防をめざしています。

そのために、心血管疾患・心不全・生活習慣病の疾患管理、正しい運動療法・在宅運動療法、心臓リハビリテーション概論などを内容として、心不全の管理について研修を行っています。

☺ 心不全の管理をめざした業務内容

心不全の管理をめざした業務内容として、
①疾患管理(心不全増悪所見の観察・評価、診

療の補助行為全般、セルフケア指導)、②身体機能管理(身体機能評価、日常生活におけるバイタルサインの評価、運動処方に基づいた運動療法、生活支援用具・住宅改修情報の提供、住宅環境整備)、③薬剤管理(薬剤指導、在宅調剤・薬剤宅配サービスの情報提供)、④栄養管理(栄養指導、心臓病食など特別食の宅配サービスなどの情報提供)を徹底しています。

☺ 問題点と今後の展望

これまで心不全利用者様との関わりのなかで難しかった点は、退院前後や緊急時の急性期病院・かかりつけ医・訪問看護ステーション間の連携でした。また、地域・利用者様家族からの認知度が低いことや、重症心不全であっても介護度が低く見積もられ、十分な社会的資源が活用できないことも難しいと感じました。

今後の展望として、地域連携・啓蒙活動に重点をおき、利用者様家族に安心した医療・支援を提供できること、そして地域の医療従事者・介護者に対して専門知識を習得する場を提供できるよう、努めていきたいと思っています。